

2023年、

十一月フィリピン訪問報告。

本年最後となるこの度のフィリピン訪問の目的は大きく四つありました。

その第一は、大和日本語学校と提携し推薦する送り出し機関の機能が弱い点を改善する為に、新たに提携を希望する送り出し機関を面接することでした。自薦他薦を合わせて五社との面接を行い、それぞれにその機能や代表者の人格、スタッフの能力などを基準に沿って話し合いをしました。しかしながら、一社を除いて前述の提携基準に達せず、「ロード・トゥ・ジャパン」プロジェクトの目的に沿って送り出し機関としては相応しくなくそのほとんどを不合格としましたものの合格した一社の代表者の思想・理解力・柔軟性などには問題なく、且つ又特定技能制度に続く新制度への取り組み熱意や現状不足する機能への迅速な対応計画などに説得力があり、且つ又大和日本語学校が掲げる「より良い人材をより良い日本企業に」のテーマにも深い賛同があって、この送り出し機関P者を新たに提携し推薦することといたしました。



PHATESさんのヘッドクォーターの画像



大和日本語研修センターの副会長と事務局長の、PHATESさんの社長との写真



PHATESさんのトレーニング会場

第二に、遠隔地や財政面の困難にて日本語学校に入校できない来日希望者に提供するE-learningシステムのインストラクションをスタッフ全員に行う事。

「ロード・トゥ・ジャパン」プロジェクトのシステム化やIT部門の顧問的立場であるA氏の作成になるE-learningシステムを九日と十日の二日にわたってスタッフ全員講習を受け2024年新年より開始する運びとなりました。これにて金銭的事情や地理的・家庭的条件で日本語学校に入校が出来ない会話訓練も含めた来日希望者の日本語学習が可能になり、試験通過者には大和日本語学校の短期講習による仕上げ学習と組み合わせる事にて更なる来日希望者の日本語能力の向上が実現できるものとスタッフ一同喜んでおります。

第三に。従来訪問してきた大学や実業学校の全てが遠隔地であるためにマニラ近郊にて視察団が半日程度で訪問できる大学との提携を果たす事でした。これは、介護や外食関係など様々な教育コースを備えた実業色の強い大学との提携が目的なのですが、以前から私が個人的に接点を持っていたO大学の介護部門を訪問し大学のみならず学生たちから大変な歓迎を受ける事が出来ました。このO大学には建設や機械工業などの教育部門備わっており政府機関TESDAの定める(規定内容受講と技能認定)を日本側新制度で解放される多くの部門をカバーしていますのでスキル教育を実施し、大和の日本語学校による日本語教育と組み合わせる事に質の高いフィリピン労働者の教育と資格取得に大きな可能性を見出しております。



オリヴァレス大学の介護学生の写真①



オリヴァレス大学の介護学生の写真②

第四に、二社の登録支援機関の大和日本語学校訪問と面接の実施でありました。

その一社であるC社は受け入れ企業を代理して介護士の面接を実施しました。

面接は推薦機関の一社であるJ社にて実施され、二名の特定技能試験通過者の採用を決定されました。関東に所在する今一社の登録支援機関T社は、ビル清掃を主たる教務範疇とした登録支援機関を設立しつつある団体で、視察に関しては特に大和日るものです本語学校の教育レベルの確認となり高い評価を頂く事となりました。

上記が前回の視察の成果でありましたが、今回はこれら前回の成果に基づきまして、政府の所轄機関TESDAの本部訪問と日本国の新制度への対応に関する質疑応答、O大学の介護を始めとするスキル教育現場視察と教育側との意見交換、三社の推薦送り出し機関訪問と自社との適合性の判定と判定に基づいて提携に向けた話し合い。大和日本語学校訪問によるフィリピンーと言われる日本語教育レベルの確認と来日候補生との意見交換。等为目标に次回の視察会が、2024年二月上旬から中旬にかけて実施されますので、送り出し国の一つであり世界一の人材派遣国あるフィリピン国を知り、教育と送り出しの実情を知る為に、受け入れに係る大勢の方々の御参加を呼び掛けるものです。お申込みいただいた方には後日視察会詳細をお送り致します。